

## えひめ暮らしネットワークの 活動について

「愛媛で自分らしく暮らし働く」ひとたちをつなぎ、支援することを目的に発足した一般社団法人えひめ暮らしネットワークは、設立から2年目の活動を開始しました。見通しの立たないコロナ禍ではありますが、今年度の取組みについて皆様にご報告させていただきます。

### えひめ暮らしネットワークとは

代表には、えひめ移住コンシェルジュの板垣が就任し、その他運営メンバーは県内の地域おこし協力隊OB\OGが担当しています。えひめ地域政策研究センターに併設する形で、我々運営メンバーが「日直えひめ暮らし」として日替わりで移住相談及び地域おこし協力隊相談窓口を対応しています。並行して、県からの移住促進関連を中心とした受託事業の実施など、多様な展開を図っています。

### 「えひめ地域おこし協力隊初任者研修会」の開催

6月11日に、令和3年度より採用された地域おこし協力隊を対象とした初任者研修会を開催しました。総務省の主催による全国からの地域おこし協力隊が集う初任者研修は、昨年より2年連続で中止となつております。このような状況下において、えひめ暮らしネットワークでは、昨年度からオンラインでの初任者研修を開催してきました。協力隊としての活動を円滑にスタートするための方法を、協力隊OB\OGの経験から学ぶことを目的としたこの研修会には、40名の隊員と13名の担当職員が参加しました。

事例発表では、八幡浜市地域おこし協力隊の田川花月光さん、協力隊OGの山口聡子さんにご登壇いただき、それぞれの立場からの取組みについてお話いただきました。また、私からは地域づくりの基本的な考え方といった講演をさせていただきますました。その他にも、参加隊員全員の自己紹介や研修後の交流会を実施



一般社団法人  
えひめ暮らしネットワーク  
副代表 鍋島 悠弥

し、コロナ禍における交流のきっかけづくりの時間となつたのではないかと感じています。



初任者研修会



プランニング研修会

## 「えひめ地域おこし協力隊活動プランニング研修会」

初任者研修の他にも令和3年度においては様々な研修を企画、実施しています。

7月28日には、えひめ地域おこし協力隊活動プランニング研修会を開催しました。こちらは、全3回の研修において、「地域での関係構築のプロセス」「課題

抽出の手法」「プランニング作成のポイント」などをOB・OGや現役隊員同士の交流を通じて学び、活動プランのブラッシュアップにつなげるとともに、任期中に発生する課題に対して臨機応変に対応していくスキルの向上を目的とした研修です。私自身も経験があるので、協力隊として活動する3年間はイレギュラーな事態の連続です。しかし、その中で地域との関係構築が形成されたり、思わぬ活動の展開が待ち受けていることもあります。このような研修の機会を通じて、協力隊としての経験値を現場へフィードバックしていくことを大切にしていきたいと考えています。

地域おこし協力隊は、優良事例等について学ぶことも大切ですが、市町を超えた横のつながりによって互いを尊重しあうことが精神的な支えにもなります。私も、協力隊であった頃は随分と県内の隊員の仲間たちに助けられました。地域での活動に邁進しながらも、広くつながりを構築していくことができるのは、大きな財産となります。今後も研修等を通じて、このような関係づくりの機会を創出していこうと思います。

## 今後の事業展開について

昨年度より実施している「えひめ暮らし仕事体験事業」は、今年度におきましても取組みを継続しています。愛媛県内

の多数の事業者と協力し、仕事を切り口とした移住希望支援である本事業は、新たな移住へのアプローチとしての可能性を秘めています。コロナ禍において思うような事業展開を図ることが困難ではありますが、可能な限りの手段をもって事業の進捗に努めていく所存です。

今後は、県内の地域おこし協力隊及び行政担当職員が集う研修会や、起業支援を目的とした研修の実施も計画しています。

昨年度からのコロナ禍により、都市部で暮らしを送る人々の意識は変化してきました。それを証明するかのように、令和2年度の県内への移住実績は元年度より29%も増加しています。当法人では、引き続き現状において可能な限りの努力を惜しまず、県内への移住促進と地域おこし協力隊の定着サポートへ取り組むとともに、「愛媛で自分らしく暮らし働く」すべてのの方々にとって必要とされる組織を目指していきます。引き続き、よろしくお願いいたします。

## ☆お知らせコーナー☆

一般社団法人えひめ暮らしネットワークでは、会員を募集しています。協力隊会員、一般会員、賛助会員がごさいますので、是非ご登録ください。



会員登録  
QRコード